

佐那河内村子ども読書活動推進計画

【第二次推進計画】

令和元年度～令和5年度



佐那河内村教育委員会

平成31年4月

目 次

- 1 佐那河内村子どもの読書活動推進計画の基本的な考え方
- 2 計画期間
- 3 家庭における子どもの読書活動の推進
 - (1) 家庭の役割
 - (2) 具体的な取組
- 4 地域における子どもの読書活動の推進
 - (1) 地域の役割
 - (2) 具体的な取組
- 5 学校・保育所における子どもの読書活動の推進
 - (1) 保育所における推進
 - (2) 小・中学校における推進
- 6 村立図書館における子どもの読書活動の推進
 - (1) 図書館の役割
 - (2) 具体的な取組

1 佐那河内村子どもの読書活動推進計画の基本的な考え方

情報化社会を迎え、スマートフォンやインターネットなどの情報メディア・媒体の発達により、多様な情報が瞬時にたやすく入手できるようになりました。利便性が向上した反面、子どもの文字離れ・活字離れが懸念されているところです。

平成 13 年 12 月に公布・施行された「子ども読書活動の推進に関する法律」では、基本理念に「読書活動は、子どもが人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものであることに鑑み、すべての子どもが機会・場所を問わず、自主的に読書活動ができるよう、積極的にそのための環境整備が推進されなければならない」ことを記しており、この法律に基づき国は、翌年 8 月「子どもの読書活動の推進に関する基本的計画」（第一次基本計画）を定めました。

そして、平成 20 年 3 月には第一次基本計画における成果や課題等を検証し、今後のおおむね 5 年間にわたる施策の基本方針を明らかにするために「子ども読書活動の推進に関する基本的な計画」（第二次基本計画）が策定され、その後平成 25 年 5 月に第三次基本計画、平成 30 年 4 月に第四次基本計画が策定されています。

また徳島県では、平成 15 年 11 月に「徳島県子どもの読書活動推進計画」（第一次基本計画）を策定し、5 年間の経過の後、成果の課題等の検証をし、平成 21 年 3 月に「徳島県子どもの読書活動推進計画」（第二次基本計画）が策定され、平成 26 年 10 月に第三次基本計画が策定されたところです。

佐那河内村では、これまでもすべての子どもがあらゆる機会に自主的に読書活動を行うことができるよう保育所や小・中学校とともに読書活動の整備に努めてきました。この計画は、第一次推進計画の基本的な考えを引き継ぎながら、これまでの取り組みや諸情勢の変化等を検証した上で、策定したものです。

この計画の策定に沿って、今後も、家庭、地域、保育所、小・中学校、読書関係各種団体、行政がより協力・連携して子ども読書活動の推進に取り組んでまいりたいと考えています。

2 計画期間

本計画の取り組み期間は、令和元年度から令和 5 年度までの 5 年間

3 家庭における子どもの読書活動の推進

(1) 家庭の役割

絵本をとおしての親子のふれあいは、言葉や知識の獲得、愛情の確認など、親子

ともに大きな意味を持つものです。成長するにつれ、読書が生活の一部となっていくには、子どもの生活の基礎である家庭は、大きな影響力を持ちます。

子どもの成長によって、読み聞かせる本や読書との関わり方が変化していくことは考えられますが、いつまでも家庭という愛情に満ちた場所で、変わらずに読書関わられることを願うところです。親子で読書を楽しみながらコミュニケーションを図れるよう、読書環境を整備していただくことが大切となります。

(2) 具体的な取組

- ・はじめての「えほん」ブックスタートを実施し、読み聞かせの方法、おすすめの本などの紹介を出生時に提供。
- ・村で絵本の読み聞かせなどを実施して、親子が本に楽しむ機会の提供。
- ・多くの保護者が集まる場所で家庭における読書活動の啓発に努める。

4 地域における子どもの読書活動の推進

(1) 地域の役割

地域とは、村の社会教育施設とともに、自主団体である読み聞かせグループ、読書に関するボランティア、また、読書活動推進に関わる全ての村民活動をさします。

子どもは、地域の大人たちとの出会いから、さまざまな刺激を受け、大きくそして豊かに成長していくと考えられます。したがって、子どもの読書の推進のためには地域の協力と理解が不可欠となります。

(2) 具体的な取組

- ・子どもの読書活動の推進のための村立図書館の整備を進める。
- ・子育て支援事業と連携し地域における読書活動の普及に努める。
- ・読書に関するボランティアや村民活動への支援を充実する。
- ・他の地域の支援団体との連携や、ネットワーク化を図る。

5 学校・保育所における子どもの読書活動の推進

(1) 保育所における推進

【現状と課題】

保育所では、日々本を媒介とした保育に取り組んでいます。就学前の自我の目覚め始める時期の本へのアプローチは、子どもにとって大きな意味を持つといえます。保育所における主な取組は次のとおりです。

- ・各年齢に応じた絵本の読み聞かせをしている。
- ・午睡前の絵本タイムは、異年齢で興味ある幼児を対象に行っている。
- ・1人1冊、月刊絵本を購入。保育教材として使った後、家庭へ持ち帰り、活用している。
- ・毎週金曜日、家庭へ絵本の貸し出しを行っている。
- ・各クラス便りを通じて家庭へ啓発している。
- ・ボランティアお話会「ふみの会」と連携し、毎月1回「読み聞かせ」「お話会」を行っている。

絵本には、物語絵本認識絵本・科学絵本・生活指導の絵本・昔話絵本、詩や歌などの言葉の美しさを感じさせる絵本、文字のない絵本などがあり、幼児の発達や興味関心に合わせ、計画的に選本する必要があります。

【具体的な取組】

- ・よりいっそう、幼児が絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさが味わえるよう職員間で積極的に絵本コーナーの環境づくりをする。
- ・職員の読み聞かせの技術向上に向けた研修をすすめる。

【目標】

- ・「ゆとりの中で生きる力」を育むことをめざし、幼児期の発達と絵本体験の意義を踏まえ、絵本指導年間計画を作成する。
- ・絵本体験を通し、幼児の内面の豊かな表現力を培い、望ましい成長発達へとつなげていく。
- ・読み手の愛情を幼児に伝えていく。

(2) 小・中学校における推進

【現状と課題】

小・中学校では、児童生徒が自主的に自由な読書を楽しみながら学校や家庭における読書習慣を確立し、更に読書の幅を広げる取組の実施を促すとともに、全ての教科等を通じて児童生徒の発達の段階に応じた体系的な読書指導を行っています。

小・中学校における主な取組は次のとおりです。

- ・小・中学校で一斉読書（朝読書）に取り組んでいる。
- ・小・中学校のすべての教職員が、子どもの読書活動推進に努め、業間及び昼休憩中の読書指導等にあたっている。
- ・学年だより等を通し、家庭での読書について保護者に対しても啓発を行っている。

学校図書館の計画的な利活用を図り、また、主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させるために、読書団体・読書ボランティア等との連携を図る必要があります。

【具体的な取組】

- ・全児童生徒・全職員の理解と協力を基本とし、図書委員会を中心に自主的に運営する。
- ・読書指導の年間計画を作成し、幅広い読書活動を展開する。

月	内容 (小学校)	内容 (中学校)	月	内容 (小学校)	内容 (中学校)
4	・図書館利用の仕方 ・子ども読書の日の活動	・図書館利用の仕方 ・図書委員の選出 ・学級文庫の開設 ・朝読書の推進	10	・読書冊数調べ① ・多読賞表彰 ・図書委員会の読み聞かせ	・図書委員選出 ・読書冊数調べ①
5	・新刊図書購入計画	・ブックリスト作成 ・家庭読書の啓発	11	・ブックリスト作成 ・読書週間	・読書週間 ・読書感想画の指導
6	・新刊図書の受け入れ ・新刊図書の紹介	・希望図書アンケートの実施 ・新刊図書購入計画	12	・冬休み前の貸し出し ・読書感想画の指導	・読書感想画の制作(感想文の指導)
7	・読書感想文の指導 ・夏休み前の貸し出し	・読書感想文の指導 ・夏休み前の貸し出し ・図書の整理	1	・読書感想画コンクール出品	読書感想画コンクール出品
8	・夏休みの貸し出し	・夏休みの貸し出し	2	・図書委員選出	・読書感想文、読書感想画コンクール優秀作品集の紹介
9	・小学生新刊紹介 ・読書感想文コンクール参加	・読書感想文コンクール出品 ・新刊図書の受け入れ、登録 ・新刊図書の紹介 ・多読賞表彰	3	・読書冊数調べ② ・多読賞表彰 ・図書館活動の反省	・読書冊数調べ② ・多読賞表彰 ・図書の返却 ・図書館活動の反省と図書の整理

【目標】

- ・「読書の生活化プロジェクトV」の取り組みを推進する。
- ・小学校と中学校の一貫した取り組みを一層推進する。
- ・各種機関・学校・図書館・民間団体との連携を推進する。

学校図書館の計画的な利活用を図り、主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実することとされていることを踏まえ、所管の学校に対し、児童生徒が自主的に自由な読書を楽しみながら学校や家庭における読書習慣を確立し、更に読書の幅を広げる取組の実施を促すとともに、全ての教科等を通じて児童生徒の発達の段階に応じた体系的な読書指導に努めます。

①学習指導要領

- ・言語に関する能力の育成や人間形成や情操の涵養に重要な読書活動を充実。

②読書習慣の確立、読書指導の充実

- ・全校一斉読書活動。
- ・児童生徒による図書紹介。

6 村立図書館における子どもの読書活動の推進

(1) 図書館の役割

村立図書館は村の読書活動推進の拠点といえます。今後数年をかけて、蔵書の整理や館内整備のほか、村内の読書グループと連携した親子で親しむ事業の推進等に一層取り組んでいきます。

(2) 具体的な取組

- ・乳幼児向けの栄養相談等と連携した絵本の展示会の実施。
- ・乳幼児・小中学生を対象にした事業の推進。
- ・子どもが読書に親しむ環境整備に努める。
- ・図書館だより、ホームページ等による情報発信を行う。
- ・子どもや保護者よりの読書相談に応じられるよう、職員の資質向上に努める。